



DIOCESE OF HIROSHIMA

ALEXIS MITSURU SHIRAHAMA
DEI ET APOSTOLICAE SEDIS GRATIA EPISCOPUS HIROSHIMAENSIS

BISHOP'S OFFICE
4-42 NOBORI-CHO
NAKA-KU HIROSHIMA
〒730-0016 JAPAN

PROT.N.

2022 年 8 月 17 日

広島教区の兄弟姉妹の皆さん

広島教区 司教 白浜 満

「被造物を大切にする世界祈願日」に寄せて

+主の平和

世界的な気候変動の影響でしょうか、猛暑と豪雨が交錯する不安定な日々が続いています。とくに、新型コロナウイルスの第七波の最中、お変わりなくお過ごしでしょうか。

1 : 「被造物を大切にする世界祈願日」

ご存じのように、教皇フランシスコは 2015 年に公布した回勅『ラウダート・シ（ともに暮らす家を大切に）』の中で、世界の環境保護のために神様の助けを願う日を設けることを望まれ、世界の教会では、9月1日が「被造物を大切にする世界祈願日」とされています。日本の教会は、この日を毎年9月第1日曜日に移動して祈りをささげることにしているため、今年は年9月4日とその祈願日に当たっています。この意向を踏まえて、当日、心を合わせてお祈りくださいますように、お願いいたします。

なお、この祈願日のための教皇メッセージの邦訳が、カトリック中央協議会から送付されて来ていますので、ご活用ください。カトリック中央協議会のウェブサイトにも掲載されています。

また、英語版はじめ、各国語版は教皇庁のウェブサイト（下記参照）に掲載されております。

<https://www.vatican.va/content/francesco/en/messages/pont-messages/2022/documents/20220716-messaggio-giornata-curacreato.html>

2 : 「すべてのいのちを守るための月間」

日本カトリック司教協議会は、教皇フランシスコの来日（2019年11月）を受けて、教皇の上記の意向によりよく応えていくため、9月1日～10月4日（アッシジの聖フランシスコの記念日）に「すべてのいのちを守るための月間」（<https://www.cbci.catholic.jp/2020/05/12/20724/>）を設定し、日本の教会として、積極的な取り組みを促す月間としています。すでに配布されている「すべてのいのちを守るためのキリスト者の祈り」なども、ご活用いただければ幸いです。

環境保護や持続可能な開発目標（SDGs）のために、地域社会で行われている活動などに合わせて、わたしたちも可能な努力を続けていきたいと思っております。教区内での取り組みの事例等がありましたら、情報を共有していきたいと思っておりますので、教区本部の「平和の使徒推進本部」までお知らせください。どうぞ、よろしく願いいたします。

以上

+ Alexis Mitsuru Shirahama